

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名： ヒト乳歯歯髄由来間葉系幹細胞 (凍結細胞)

製造会社： 株式会社 S-Quatre

住所： 東京都中央区日本橋本町三丁目 8 番 3 号

電話番号： 03-6222-9547

FAX： 03-6222-9548

電子メール： :shedinfo@kidswellbio.com

推奨用途および制限： 試験研究用。人体への投与、摂取をしてはならない。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類：

物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	分類できない
環境に対する有害性	分類できない

ラベル要素：

絵表示	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

注意書き：

安全対策 試験研究用とし、人体への投与、人体内への摂取はしないこと。

応急措置 なし

保管 なし

廃棄 内容物／容器は都道府県知事の許可を受けた専門の感染性廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性： 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学名： ジメチルスルホキシド (Dimethyl sulfoxide)

CAS 番号： 67-68-5

分子式： C_2H_6OS

濃度： 10 wt%

官報公示整理番号 (化審法)： 2-1553

官報公示整理番号 (安衛法)： 既存化学物質

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服を脱がせる。洗い流してから水と石鹼で皮膚を洗浄する。医師に連絡すること。
眼に入った場合	数分間多量の水で洗い流し (できればコンタクトレンズをはずして)、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	吐かせない。医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	吸入：頭痛、吐き気皮膚：吸収される可能性あり、皮膚の乾燥眼：充血、かすみ眼経口摂取：吐き気、嘔吐、嗜眠
応急措置をする者の保護	情報なし
医師に対する特別な注意事項	情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、泡消火薬剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	可燃性。火災時に、刺激性あるいは有毒なヒュームやガスを放出する。87°C以上では、蒸気/空気の爆発性混合気体を生じることがある。
特有の消火方法	水を噴霧して容器類を冷却する。
消火を行う者の保護	自給式呼吸器、防護服 (耐熱性) を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	個人用保護具：化学保護衣及び空気中濃度に応じた有機ガス及び蒸気用フィルター付マスク換気する。漏れた液やこぼれた液を、密閉式の容器にできる限り集める。残留液を、砂又は不活性吸収剤に吸収させる。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い：	
技術的対策	必要に応じて保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
接触回避	「10. 安全性及び反応性」を参照。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。
保管：	
安全な保管条件	酸化剤、熱源、および発火源から離して保管。
安全な容器包装材料	消防法で規定された容器を使用する。

8. 曝露防止および保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度：	
日本産衛学会（2019 年度版）	未設定
ACGIH（2019 年版）	未設定

設備対策	87°C以上では、密閉系、換気、防爆型電気設備及び照明設備を用いる。全体換気装置又は局所排気装置を使用する。
保護具：	
呼吸用保護具	必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	保護手袋を着用する。
眼の保護具	保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体 (20°C、1 気圧) (GHS 判定)
色	無色 (HSDB)
臭い	わずかな硫黄臭 (HSDB)
融点／凝固点	18.5 °C (ICSC)
沸点、初留点及び沸騰範囲	189°C (HSDB)
可燃性	可燃性
爆発下限界及び爆発上限界／	2.6~42.0 vol% (空気中) (ICSC)
可燃限界	
引火点	87°C (c.c.) (ICSC)
自然発火点	215°C (ICSC)
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	2.47 cP (20°C) (HSDB)
溶解度	水：混和 (ICSC)
n-オクタノール／水分配係数	log Pow: -1.35 (ICSC)
蒸気圧	0.60 mm Hg at 25 ° C (HSDB)
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	2.71 (Air=1) (HSDB)
粒子特性	データなし

10. 安全性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	通常の状態では安定
危険有害反応可能性	通常の処理ではなし
避けるべき条件	混触危険物質との接触
混触危険物質	強酸化剤、還元剤、酸塩化物
危険有害な分解生成物	硫黄酸化物

1 1. 有害性情報

製品の有害性情報	データなし
成分の有害性情報	
急性毒性	区分に該当しない
経口 ラット LD50	14,500mg/kg
経皮 ラット LD50	40g/kg
吸入 ラット LCLo	>1,400mg/m ³
(環境省リスク評価書第 13 巻)	
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分に該当しない
ECD TG 404 に準拠したウサギを用いた皮膚刺激性試験でごく軽度あるいは明らかな紅斑がみられたが、72 時間後には全て消失 ((SIDS (2008)、GESTIS (Sep. 2019)、REACH (Nov. 2019))	
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	区分に該当しない
OECD TG 405 に準拠したウサギを用いた眼刺激性試験で、軽度~中等度の結膜に対する刺激性反応がみられたが、72 時間後には全て消失(SIDS (2008)、GESTIS (Sep. 2019)、REACH(Nov. 2019))	
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
OECD TG 406 に準拠したモルモットでの感作性試験 陰性	
ヒトでの感作性試験 陰性 (SIDS (2008)、GESTIS (Sep. 2019))	
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない

生殖毒性

分類できない

1 2. 環境影響情報

製品の環境影響情報

データなし

成分の環境影響情報

生態毒性：ゼブラフィッシュ (Danio rerio) を用いた止水式試験

LC50 >25,000,000ug/L

(環境省リスク評価書第 13 巻)

残留性・分解性：

データなし

生体蓄積性：

Log Pow: -1.35 (ICSC)

土壌中の移動性：

データなし

その他の有害影響：

データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い廃棄する。産業廃棄物として処分を委託する場合は都道府県知事の許可を受けた業者に委託する。

汚染容器及び包装：

関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い廃棄する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制：

海上規制情報：IMO の規制に従う

国連番号	UN3373
輸送時正式名称	Biological Substance, Category B
国際分類	6.2 (UN3373)
容器等級	該当なし
ラベル	UN3373
包装	三重包装

EmS コード	F-A, S-T
海洋汚染物質	非該当

ドライアイス使用時は UN1845 (Class 9)(Carbon Dioxide, Solid)についての輸送条件に従い、通気性外装 (P003,PP18) を用いる。
液体窒素使用時は、UN1977 (Class 2.2)(Nitrogen, refrigerated liquid)についての輸送条件に従い、ドライシッパーを使用する。

陸上規制情報

国連番号	UN3373
包装	三重包装(UN3373)
ラベル	UN3373

ドライアイス使用時は UN1845 (Class 9)(Carbon Dioxide, Solid)についての輸送条件に従い、通気性外装を用いるとともに、“UN3373”、“Class9”、および”Dry Ice”のラベル表示を行なう。ドライアイスの数量制限は通常～200kg/梱包である。
液体窒素使用時は、UN1977 (Class 2.2)(Nitrogen, refrigerated liquid)についての輸送条件に従い、ドライシッパーを使用する。

航空規制情報：OCAO/IATA の規則に従う

国連番号	UN3373
国際分類	6.2 (UN3373)
包装	旅客機・貨物機共通 650
ラベル	UN3373

ドライアイス使用時は UN1845 (Class 9)(Carbon Dioxide, Solid)についての輸送条件に従い、通気性外装を用いるとともに、“UN3373”、“Class9”のラベル表示を行なう。包装物表面にドライアイスの正味量を表示する。ドライアイスの数量制限は通常～200kg/梱包

である。

液体窒素使用時は、UN1977 (Class 2.2)(Nitrogen, refrigerated liquid) についての輸送条件に従い、ドライシッパーを使用する。

国内規制：

海上規制情報： 船舶安全法に従う

ドライアイス使用時は通気性外装を用いるとともに、“UN3373”、“Class9”、および“Dry Ice”のラベル表示を行なう。

液体窒素使用時は、ドライシッパーを使用し、“UN3373”ラベル表示を行なう。

陸上輸送情報： 消防法に従う

ドライアイス使用時は通気性外装を用いるとともに“UN3373”、“Class9”のラベル表示を行ない、包装物表面にドライアイスの正味量を表示する。

液体窒素使用時は、ドライシッパーを使用し、“UN3373”ラベル表示を行なう。

航空規制情報：航空法に従う

ドライアイス使用時は通気性外装を用いるとともに“UN3373”、“Class9”のラベル表示を行ない、包装物表面にドライアイスの正味量を表示する。

液体窒素使用時は、ドライシッパーを使用し、“UN3373”ラベル表示を行なう。

(注意事項)

- 1：冷却材の選択により、輸送条件、書類、ラベルが異なる。
- 2：航空輸送時は、航空会社・機種ごとの搭載制限を確認のこと。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法

「名称等を通知すべき有害物質」： ジメチルスルホキシド

1 6. その他の情報

問い合わせ先

会社名： 株式会社 S-Quatre

住所： 東京都中央区日本橋本町三丁目 8 番 3 号

電話番号： 03-6222-9547

FAX： 03-6222-9548

電子メール： :shedinfo@kidswellbio.com